



われわれ青年経営者で世界に誇れる日本の未来を創ろう!

第46回 青年経営者全国交流会 in 沖縄

肝高く 万国津梁を担う 結人たれ! ~まくとうそーけー、なんくるないさ~

2018年 11月29日(木) 13:30開会 | 30日(金) 12:00閉会

会場: ロワジールホテル&スパタワー那覇(全体会、分科会、懇親会) パシフィックホテル沖縄(分科会) 沖縄産業支援センター他(分科会) 参加費: 21,000円(宿泊・交通費別)

主催: 中小企業家同友会全国協議会 設営: 沖縄県中小企業家同友会

※1:琉球王国時代「琉球はアジアの優れたところを集め、自然が豊かで美しい理想の島であり、万国の架け橋」と言われていました。私たち経営者も志を高く持ち世界を結ぶ架け橋となり日本の未来を担う人物になろう!!(誠を貫けば道は拓ける!!)

スケジュール

- 1日目 11/29(木) 12:30 受付開始(各分科会会場) 13:30 分科会開始 18:00 分科会終了、休憩・会場移動 18:45 懇親会開始 20:30 懇親会終了・1日目終了 21:00 交流の広場開始 22:30 交流の広場終了 2日目 11/30(金) 9:00 全体会開始 分科会報告 9:35 特別報告 10:15 記念講演 11:35 まとめ 12:00 閉会 ~オプショナルツアー~

開催概要

- 日時: 2018年11月29日(木)13:30開会 — 11月30日(金)12:00閉会 会場: 【全体会・分科会・懇親会】 ①ロワジールホテル&スパタワー那覇 【分科会】 ②パシフィックホテル沖縄 ③沖縄産業支援センター ④沖縄空手会館(特別分科会:平和) ⑤JR九州ホテルブラッサム那覇(特別分科会:地域づくり) ※受付は①・②・③の分科会会場で行われます。 ※2つの特別分科会は、ロワジールホテル&スパタワー那覇で受付後、12:30にホテル前よりバスが出ます。 ※空港から各分科会会場へは、公共機関(タクシーかモノレール)をご利用ください。 参加費: 21,000円(宿泊・交通費別) 参加申込: 所属の同友会事務局へお申し込みください。 申込締切: 11月14日(水) ※11月15日(木)以降のキャンセルは、参加費・オプショナルツアー代金の全額をご負担いただきます。

第46回青年経営者全国交流会開催意義

- 1 中同協青年部連絡会の「宣言・ビジョン」を広め、全国の青年経営者の志を結集して、世界に誇れる日本の未来を創造する。 また、「宣言・ビジョン」の具体的実践を検証し、さらなる発展にむけて学びを深める。 2 尊敬される次代のリーダーとして、全人格的成長をめざす学びあいの活動を行う。 3 「人を生かす経営」の総合実践から社員が輝く企業をつくり、市場と雇用を創造するため、分科会やグループ討論で学びを深める。 4 共に切磋琢磨する青年経営者の仲間を地域に増やすための対外的な発信の場とする。

会場ごあんない

- 1 全体会・分科会・懇親会 ロワジールホテル&スパタワー那覇 那覇市西3-2-1 Tel.098-868-2222 2 分科会会場 パシフィックホテル沖縄 那覇市西3-6-1 Tel.098-868-5162 3 分科会会場 沖縄産業支援センター 那覇市字小禄1831-1 Tel.098-859-6205(沖縄同友会事務局) 4 特別分科会:平和 沖縄空手会館 豊見城市豊見城854-1 Tel.098-851-1025 5 特別分科会:地域づくり JR九州ホテルブラッサム那覇 那覇市牧志2-16-1 Tel.098-861-8700 ④・⑤の特別分科会は、ロワジールホテル&スパタワー那覇で受付後、12:30にホテル前よりバスが出ます。



※①・②・③のそれぞれの会場で受付を行います。 ※昼食は、①・②はホテル(ホテル周辺での昼食はありません)、③は建物の道向かいに食堂がございますが、混雑が予想されるため、空港で昼食を済ませての移動をお勧めします。(特別分科会は、移動後も多少時間があるため会場でも昼食をとることは可能です。 ※沖縄空手会館の敷地内にカフェがありますが、メニューが限定「沖縄そば」です)

Table with columns: 参加申込書, 第46回青年経営者全国交流会, 申込締切:11月14日(水), 企業名, 氏名, 役職, 希望分科会, 第1希望, 第2希望, 第1分科会, 第2分科会, できる/できない, 参加/不参加

※お申し込みは所属同友会事務局までお願いします。会場の関係などで第2希望の分科会になる場合もございます。ご了承ください。 ※本登録内容は行事設営のために中同協管理のもと参加者名簿等に活用し、それ以外は使用することはありません。 ※本行事の模様を撮影・録音し、記録されたものを印刷物やインターネット上で公開させていただくことがあります。参加者の皆さんの顔写真が掲載されることがありますので、不都合がございましたら所属同友会事務局までご連絡ください。

ビジョン実現のための創業と研究 ~ 研究発想から世界を担う ~

記念講演



玉城 絵美氏 Ph.D.

幼少期から先天性の心疾患で高校時代には容体が悪化、入院を繰り返したため家族旅行の思い出が作れず、「体験を共有する」ためのモノづくりを決意します。 東京大学大学院在学中にコンピューターで人の手を自由に動かす装置「ボゼストハンド」を開発。現在はこの技術に応用し、ロボットなどと身体機能を共有する「ボディーシェアリング」を研究しています。2012年にはH2L(株)を起業して、理念に賛同して共に苦労した役員や社員の支え、クラウドファンディ

ングの支援、国内企業に限らず海外企業からの技術的なサポートに助けられ、今年「FirstVR」*を販売してVRを通して体験共有の楽しさを伝えています。 完全に引きこもり研究に没頭したいと考える彼女は、近い将来、部屋にいながら社会貢献できる世の中になることを確信し、明確なビジョンを描いています。全力で挑戦している玉城さんの講演から経営者としても多くの気づきを得ることができるでしょう。 ※VRとは:コンピュータによる環境を現実として知覚させる技術。

プロフィール H2L, Inc. 創業者、外務省 WINDS(女性の理系キャリア促進のためのイニシアティブ)大使、内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 科学技術イノベーション政策推進専門調査会 専門委員、早稲田大学 創造理工学研究科 准教授、プロタイピング協会 副会長、JSTさきがけ、情報処理学会 ヒューマンコンピュータインタラクション研究会 幹事 コンピュータからヒトに触感や身体感覚を伝達するHCI研究とその普及を目指している。2009年 東京大学エッジキャピタル(UTEC)にてシニア探索インターン、2010年 Disney Research Pittsburghにて研究に従事する。2011年 コンピュータがヒトに手の動作を制御する装置PossessedHandを発表し、多数の学会で注目される。同年、東京大学大学院にて博士号取得し、東京大学 総長賞受賞と同時に総代をつとめる。2012年にH2L,Inc.を創業。2013年 早稲田大学に転籍。2015年、KickStarterにて世界初触感型ゲームコントローラUnlimitedHandを発表し22時間で目標達成。同年、日経ウーマン ウーマンオブザイヤー準大賞受賞。2016年 WIRED Audi Innovation Award 2016、日経ビジネス 次代をつくる100人、科学技術・学術政策研究所 ナイステップな研究者(科学技術への顕著)賞 受賞。同年から内閣府 総合科学技術・イノベーション会議、科学技術イノベーション政策推進専門調査会にて第5期科学技術基本計画の総合戦略に関する委員を務める。2017年 外務省 WINDS(女性の理系キャリア促進のためのイニシアティブ)大使に任命。H2L, Inc.では一般向けコントローラFirstVRを発表。2018年 NewsWeek誌 Japanese Women Leading the Way-Tech Innovator 掲載。



実行委員長ごあいさつ

第46回青年経営者全国交流会 実行委員長 高木 美香子 氏 (株)ビジネススタッフ 代表取締役

沖縄同友会の創立30年を経て、若手経営者部会「うりずん」の10周年を迎える節目に第46回青年経営者全国交流会in沖縄を開催できることをとてもうれしく思います。中同協青年部2020 VISIONの中にある「尊敬される次代のリーダーとして全人格的成長をめざす」ために、先人たちの築いた歴史に学ぶ機会として、また沖縄の戦後復興の中で独自に生まれた文化や女性のパワーの源など、観光では味わえない沖縄を感じていただきたいと思っています。「肝高く 万国津梁を担う結人たれ!」のスローガンのもと、多くの会員の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

オプショナルツアー

カリスマ スーパーバスガイド 崎原真弓氏の バスツアー・南部コース(日帰り)

先人たちの肝(ちむぐくる)を伝えていく語り部として、元気と癒しを与え、泣き・笑い・感動の時間を共に紡いでいく崎原真弓さんのツアーに参加しませんか? 今回は「ひめゆりの塔」「平和祈念館」「平和の礎」をご案内します。礎には敵味方関係なく国境、思想、宗教を超えてこの島で犠牲になった方々のお名前が刻まれています。住民を巻き込んだ唯一の地上戦が繰り返された沖縄。その戦後を生き抜いてきた女性たちの想いを、魂を込めて語る一人芝居は心打たれます。



定員:45名(最小催行:30名) 参加費:5,000円(昼食代、入館料含む)

行程: ロワジールホテル&スパタワー那覇(12:30) ▶ レストラン「でいご」にて昼食(13:00) ひめゆりの塔・見学 ▶ 平和祈念公園 ▶ 那覇空港着(17:10) ▶ ロワジールホテル&スパタワー那覇(17:30)

「交流の広場」のご案内

1日目の懇親会終了後、ロワジールホテル&スパタワー那覇にて設置します。分科会を振り返り、全国の仲間と交流を深める場としてぜひご参加ください。 参加費: 3,500円(アルコール、ソフトドリンク、簡単なおつまみをご用意) 定員: 200名

第1分科会 中同協 企業づくりと青年部活動

青年部活動と企業経営は不離一体！

一 学んで実践し会社を発展させるには



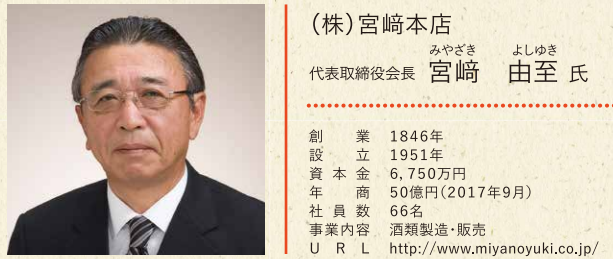
コーディネーター (株)つくば食品 代表取締役 やまき だいすけ 八巻 大介氏 (茨城)
パネリスト (有)日青工業 専務取締役 あおき しげゆき 青木 恵之氏 (茨城)
パネリスト (株)村上製作所 代表取締役 むらかみ りょういち 村上 令一氏 (広島)
パネリスト (株)HONKI 代表取締役 いしかわ ともゆき 石川 朋之氏 (滋賀)
パネリスト 仙周工業(株) 代表取締役 さとう しゅうじ 佐藤 周司氏 (宮城)

われわれ青年経営者はなぜ同友会で学びかつ青年部活動を行うのか?そもそも青年部活動の本質とは何か?同友会活動と青年部活動は不離一体として実践している4名のパネリストから学びあいます。青年部活動で学んで実践し会社を発展させるにはどうするかなど参加者とともに深め合います。

第2分科会 中同協 次代のリーダーへの期待

未来を拓く「人を生かす経営」

一 伝統産業を生き抜く、情勢認識と経営戦略



清酒「宮の雪」をはじめ、キンミヤ焼酎などを製造する三重県一の酒類総合メーカーの6代目である宮崎氏は、38歳で社長に就任。清酒業界初の週休二日制の導入やIT化など業界の常識に捉われない革新的な経営を展開してきました。情勢認識のもと伝統産業を生き抜いてきた戦略と戦術、ブランド力の強化、事業承継など宮崎氏の実践報告からどんな時代にも対応できる強靱な企業づくり、経営者としてのあり方を学びあいます。

第3分科会 奈良 経営者の全人格的成長

社員と向き合う覚悟

一 輝くビジョンが私たちを強くする

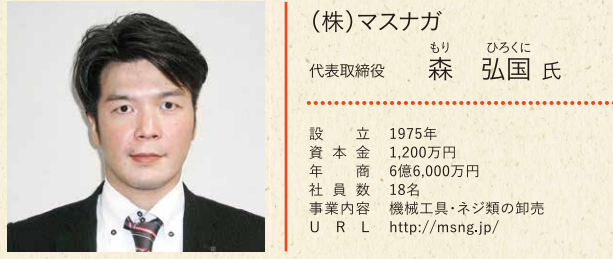


会社への不満が噴出し離職者が続中、すぎる思いで経営指針セミナーを受講し、社員の幸せを考えていなかった自分に気づきます。そして、チーム一丸の会社になるためには会社のビジョン、互いの思いを真剣に語り合わなければならないと決意します。社長である前に人として自らを律し思いを伝え、相手の声に耳を傾ける。膝を詰め共に会社の将来を語りあう取り組みから、信頼関係を築く基礎となる自己姿勢の確立について学びあいます。

第4分科会 熊本 人を生かす経営の実践

業績向上は社員と共に

一 雰囲気づくりと仕組みづくりが企業を成長させる



祖父の代から続く家族経営のマスナガに入社。入社当時は「あるべき論」を掲げ、他者の意見には耳を貸さず、仕組みづくりに力を入れてきました。しかし、気づけば親族で構成された経営陣同士は衝突しあい、経営陣と社員との間には大きな溝が生まれていました。仕組みをつくったとしても機能することはなかったのです。最悪の空気を一変させたのは同友会の先輩の助言であり、雰囲気づくりでした。

第5分科会 愛媛 経営指針の実践

自己満足から自己変革への経営

一 社員さんから教えられた経営者の覚悟



渡部氏は先代のワンマン体制を変えようと同友会に入会しました。しかし、初めて成文化した経営指針は「社員さんのことが書かれていない」と先輩会員から酷評され、社内発表でも社員さんは受け入れてくれませんでした。その理由が分からず迷走しながらも経営指針の更新を続けたある日、社員さんからの直言によってその理由が明らかになり、渡部氏の自己変革が始まりました。「経営指針が経営者の自己満足になっていないか?」を問う渡部氏の実践から人を生かす経営を学びあいます。

第6分科会 香川 社員が輝く企業づくり

社員と共に走り続ける企業へ

一 熱い仲間と俺物語



私利私欲で事業拡大させ、会社は自分のもの、社員は道具だと思っていました。会社の存続を左右する事故を起こし周りから愛想を尽かされる中、社員だけは味方でした。改めて社員のありがたみを感じ、自分のためだけでなく社員のために自身も会社も良くなることを決意。幹部と共に理念を形にするため同友会や青年部での学びを実践し、挑戦したからこそ見えてきた課題や、これからの未来を赤裸々に報告します。

第7分科会 京都 付加価値を高める

だから選ばれるねん!!

一 何のため、誰のための付加価値か?



伝統ある京友染工場の家系に生まれた野村氏。染工場をクビになったことをきっかけに起業し、現在では日本全国から祭衣装の注文が入ってきます。それは、『何のため、誰のため』を徹底的に追求し、『笑顔・感動・感謝』を創造しているから。同友会に入会しても、10年間参加しなかった野村氏がなぜ変わったのか。その実践報告から、付加価値、自社の存在価値を高めることを学びあいます。

第8分科会 兵庫 市場と雇用の創造

まだここにはない未来は自分たちで創る

一 半端ないほど想い続け、やり続けて創り上げてきたもの



承継予定がなかった橋崎氏は、リーマンショックを機に突如会社に入ることになります。厳しい外部環境と旧態依然とした社内体制の中での再建は困難でしたが、「全て他責で、言い訳ばかりして人生を終えたくない」と覚悟を決め、同友会で学んだ経営指針・新卒採用・新たな事業戦略によってチームニッシンを創り、社員と共に「めっちゃくちゃオモロイ会社」づくりに挑戦しています。

第9分科会 愛知 岡山 変革と挑戦(創業者)

経営者として大切なもの

一 社員と共に成長する会社づくり



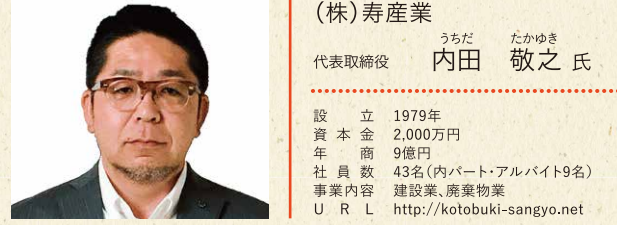
インフォポート(同) 代表社員CEO 松山 将三郎氏(岡山)
(株)リングス 代表取締役 佐藤 大貴氏(愛知)
設立 2007年 資本金 300万円 年商 5億円 社員数 165名(内パート・アルバイト150名) 事業内容 建設・土木事業FC飲食店経営 店舗開発
設立 2015年 資本金 16万円 年商 7,242万円 社員数 12名 事業内容 システム開発、WEB制作等

経営者が変われば社員が変わり、会社が変わる。すべては経営者の自己変革から始まります。そして、経営者の成長は、社員の手本となり、全社的に成長意欲の高い社風が確立していきます。本分科会では、自ら成長し、社員との関わり方を変化させ、社員が主体的に挑戦できる企業に成長させている二人の経営者の実践報告から、社員と共に成長する会社づくりについて学びあいます。

第10分科会 鹿児島 変革と挑戦(後継者)

立ち止まるな!!現状維持は退化の始まり

一 困難に立ち向かう経営者の覚悟



地元鹿児島に戻り代表取締役後に就任するも、建設不況の真ただ中でさまざまな困難がありました。会社を成長させるため挑戦し続ける姿勢には「社員や関わるすべての人々を守る、福の神をめざす!」という強い思いがありました。また、鹿児島同友会青年部会立ち上げから部会長として組織をけん引し、今年の1月には部会員100名を達成しました。「変革と挑戦」の企業づくり、組織づくりを報告します。

第11分科会 大阪 事業承継

もらったバトンはあと3年!!

一 百年企業の未来予想図



4代目としてちょうちん屋を受け継いだ秋村氏。市場が縮小していく中、先代からの教えを守り取り組むがどうも厭然としない日々。同友会との出会いが姿勢を変え、新たな方向性を見いだすまでに! 100年企業が起こす変化とは何か。未来をどう描くのか。本分科会では、次世代への事業承継について深く考え学びあいます。

第12分科会 北海道 地域づくり

街の課題が自社を強くする

一 魅力的な街 NO.1 函館の挑戦



多くの観光客が訪れる函館は、「魅力的な街NO.1」に選ばれていますが、土産店に並ぶお土産は他地域の商品が大半。そこで、カドワーズは地場で用途が限られていたさつまいもの付加価値を高める事業や高校生らを巻き込んだ事業で、地元新築業の商品開発を行い、土産店でのシェア拡大をめざしています。その過程で得たネットワークや今後の課題報告から、地域づくりを学びあ実践する契機とします。

第13分科会 沖縄 (平和)

沖縄から見た「平和」の在り方 定員70名

一 中小企業家として、どのようにして平和な世の中を創っていくか



アジア太平洋戦争では、沖縄だけでなく広島・長崎の原爆や東京大空襲などで多くの日本人が犠牲となりました。特に、本土防衛のための住民を巻き込んだ唯一の地上戦で「捨石」とされ、戦後27年間米軍統治下に置かれ、現在も約70%の米軍基地が集中する沖縄の被害は、本土の犠牲とは、比べることはできません。沖縄戦および戦後沖縄の歩みから、中小企業家として、どのようにして平和な世の中を創っていくかを考えます。

第14分科会 沖縄 (地域づくり)

那覇マチグワ-物語 定員45名

一 戦後の闇市から希望あふれる街へ



那覇のマチグワ- (市場商店街) は戦後物資不足と混乱の中から自然発生的に始まった。闇市から複合商店街へ発展し「那覇の顔」と呼ばれるように。米軍統治、本土復帰を経てマチグワ-は千軒を超える小売店、川の上を50メートル続く水上店舗、アーケード、元気なおばあちゃんなどの特色が根つきファンを引き付けています。しかし、建物の老朽化、事業承継、地域住民との距離、新時代の商店街は新たな課題を抱えています。

【特別分科会】申込締切10月15日(月)まで

第13分科会:定員70名/第14分科会:定員45名 ※希望者多数の場合は人数調整させていただきます。

特別分科会